



明日の旗印

原史のなかの現代青年
藤野 野矢

「明日の旗印」は、藤野野矢氏の著である。これは、現代青年の生活と思想を、歴史の背景の中で描き写した作品である。藤野氏は、この作品を通じて、現代青年の苦悶と希望を表現し、彼らの未来への展望を示している。

「汝」神の問題

本 質

「汝」神の問題は、宗教と現代社会の関係についての考察である。著者は、神の存在と人間の責任について深く考え、現代社会における神の役割を問いかけている。



望なきに非ず

沼田 龍太郎

「望なきに非ず」は、希望と現実のギャップについての文章である。著者は、希望を失った人々の心情を描写し、それでもなお希望を失わずに生きるべきだと訴えている。

1948年の映画界
出陣の叫び
この年、映画界は激動の年であった。戦争の終結後、新しい風が吹き、映画の表現も多岐にわたるようになった。

暗躍するボス
同輩の非行を告げ
闇社会の内幕を暴く。ボスの暗躍と仲間割れの内幕が明らかになる。

望なきに非ず (続)
沼田 龍太郎 (続)
希望を失った人々の苦悶と、それでもなお生きる力についての考察。

世界評論
評論
国際情勢と国内政治に関する評論。戦後の世界と日本の未来について論じている。

北斎の写楽
同文館新刊
北斎の写楽に関する研究論文。写楽の芸術的価値と歴史的背景について詳しく解説している。

赤毛布外遊記
赤毛布の海外旅行記。赤毛布の海外旅行の顛末と、海外の文化・風景について記述している。

世界評論社
北斎の写楽
同文館新刊
赤毛布外遊記

赤毛布外遊記
赤毛布の海外旅行記

赤毛布外遊記
赤毛布の海外旅行記